

保健体育科	科目	保 健	(必修)	授業時数	1 単位
				履修学年	2 学年

目 標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を 育成する。
-----	---

●学習内容

1 学期	10 時間	2 学期	15 時間	3 学期	10 時間
オリエンテーション	1	労働災害と健康	15	医療サービスとその活用	4
3 生涯を通じる健康	9	健康的な職業生活		医薬品の整備とその活用	
ライフステージと健康		4 健康を支える環境づくり		さまざまな保健活動や社会的対策	
思春期と健康		大気汚染と健康		健康に関する環境づくりと社会生活	
性意識と性行動の選択		水質汚濁、土壌汚染と健康		体育編 3 単元「豊かなスポーツラ	6
妊娠・出産と健康		環境と健康にかかわる対策		イフ の設計の仕方」	
避妊法と人工妊娠中絶		ごみの処理と上下水道の整備		1. 生涯スポーツの見方・考え方	
結婚生活と健康		食品の安全性		2. ライフスタイルに応じたスポーツ	
中高年期と健康		食品衛生にかかわる活動		3. スポーツを推進する取り組み	
働くことと健康		保健サービスとその活用		4. 豊かなスポーツライフの創造	

教材	授業の進め方
教科書:「現代 高等保健体育」大修館書店	座学形式の授業を行う。 教科書に即した学習用のノートを用いて授業を展開する場合もある。 ノート左側の問題に解答して、提出を求める場合もある。 また、各定期試験を通して定着を測る。

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点		知識・技能（技術）	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる （できる）	個人及び社会生活における健康・安全について理解しているとともに、 <u>技能を身に付けている。</u>	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断できるとともに、 <u>目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</u>	生涯を通じて自他の健康の保持促進やそれを支える環境づくりを目指し、 <u>明るく豊かで活力ある生活を営むことができる。</u>
	習得する （わかる）	個人及び社会生活における健康・安全について理解している。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断できる。	生涯を通じて自他の健康の保持促進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
評価方法		定期テスト・課題・ノート・授業観察	定期テスト・課題・ノート・授業観察	定期テスト・課題・ノート・授業観察 授業に取り組む姿勢や意欲（定期テストや課題等も含む）

単元別 評価規準

3 生涯を通じる健康

評価の観点		知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や 異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題と、人工妊娠 中絶の心身への影響について、理解している。	性に関わる健康について、健康に関わる原則や概念を基に 整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見しようとしている。	性に関わる健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
	習得する (わかる)	思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や 異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題と、人工妊娠 中絶の心身への影響について活動を理解している。	性に関わる健康について、健康に関わる原則や概念を基に 整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見し理解している。	性に関わる健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組みながら理解をしている。

4 健康を支える環境づくり

評価の観点		知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	健康に生きていくために、環境と健康、食品と健康、保健 医療制度及び地域の保健・医療機関、様々な保健活動や社会対策、健康に関する環境づくりと社会参加などについて行動することができる。	健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し 健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに表現している。	健康を支える環境づくりについて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
	習得する (わかる)	健康に生きていくために、環境と健康、食品と健康、保健 医療制度及び地域の保健・医療機関、様々な保健活動や社会対策、健康に関する環境づくりと社会参加などについて理解している。	健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに理解している。	健康を支える環境づくりについて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組み理解している。

体育編

3 単元「豊かなスポーツライフの設計の仕方」

評価の観点		知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	卒業後においてもジオに適した所外にわたる豊かなスポーツライフを継続していくために、各ライフスタイルに応じたスポーツの楽しみ方があり個人の欲求によって変化すること、運動機会や活動の場を条件とする自らのライフスタイルに適したスポーツとか川方があることを取り組もうとしている。	豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、より良い解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることをしている。	豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。
	習得する (わかる)	卒業後においてもジオに適した所外にわたる豊かなスポーツライフを継続していくために、各ライフスタイルに応じたスポーツの楽しみ方があり個人の欲求によって変化すること、運動機会や活動の場を条件とする自らのライフスタイルに適したスポーツとか川方があることを理解している。	豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、より良い解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝え方のことを理解している。	健康を支える環境づくりについて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組み理解している。